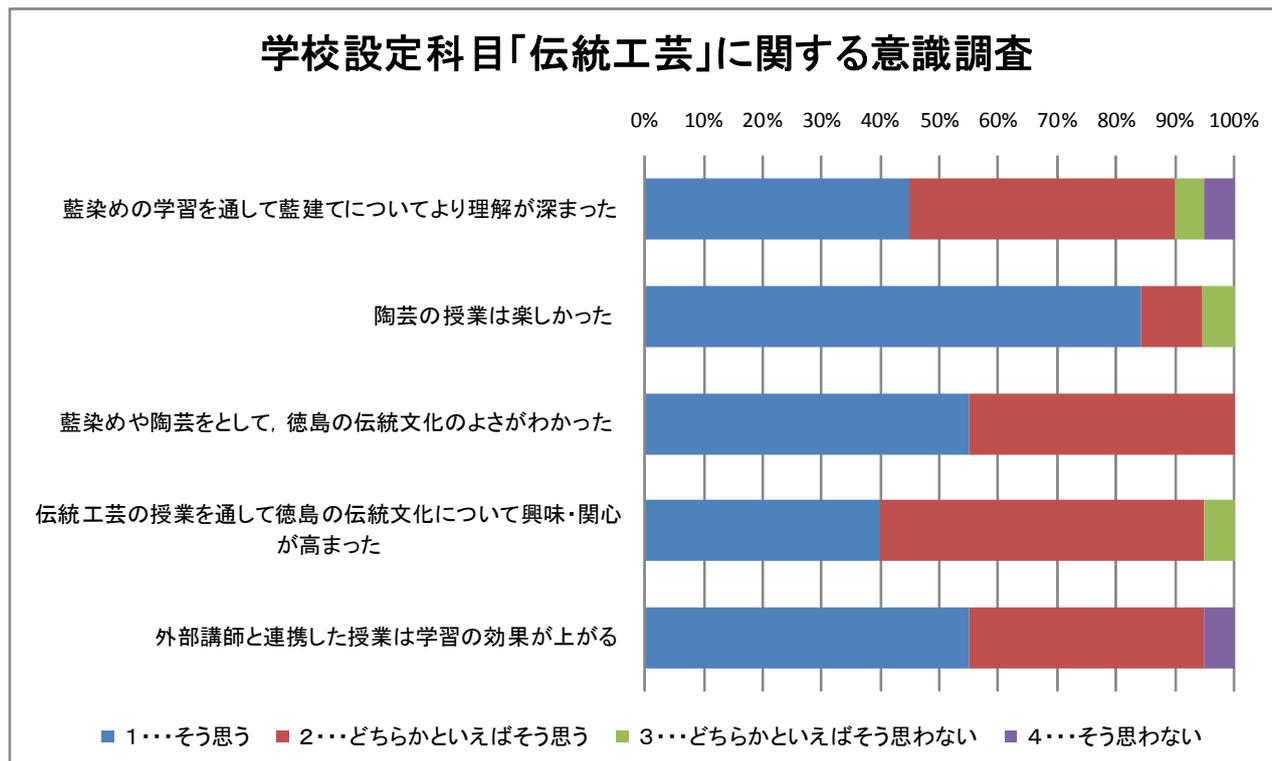


《指導いただいた伝統文化継承者（藍染師）の方へのアンケート》

- ①「伝統工芸」の授業を通して伝えたいことは何ですか。
『昔の、物が無い時代の日本人の生きる為の知恵』
- ②指導をするにあたり注意（気をつけている）ことは何ですか。
各生徒の個性
- ③伝統文化を普及させるには何が必要ですか。
『周りの大人の伝統文化への理解と知識の充実』
- ④生徒たちに伝統文化の継承で望むことは何ですか。
伝統文化の『形だけでなく心（内面）も大切に継承してほしい』

《生活文化科 3年生意識調査》



《生活文化科 3年生感想》

・始めは藍の臭いに慣れなし、手は汚れるし、あまり好きな授業ではなかったが、作品を一つひとつ作っていくと、どれも色が違うことに驚いた。藍の調子によって何回染めても濃くならない日もあれば、すごく濃く染まる日もある。それがとても不思議で楽しかった。

・LEDのファッションショーの時、始めは藍染めがLEDの装飾に負けそうだったと思ったが、藍の存在感が出ていたのでさすがだなと思った。

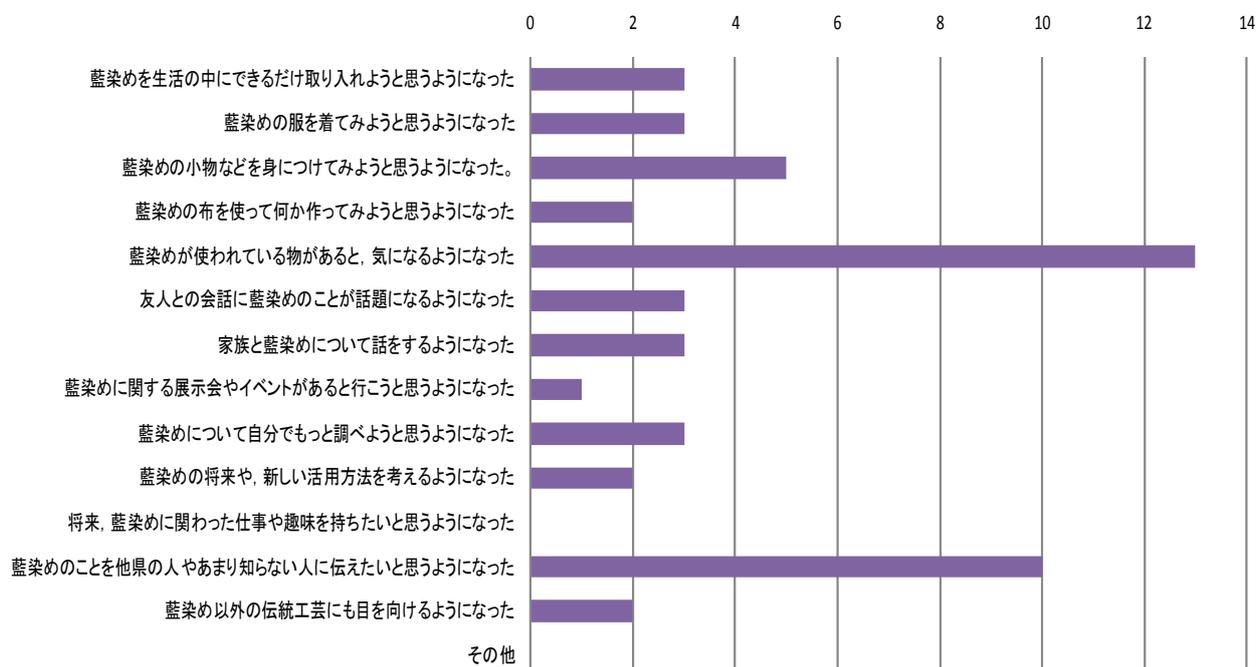
・染めるのはそんなに難しくないと思っていたが、染めてみるときれいにそめるのには技術がいるということがわかった。でも、それはそれで世界に一つだけしかない作品なので藍染めはいいなと感じた。授業で作った藍染めのクッションは結構気に入って使ってます。

・藍染めはこれからも普及して欲しい。とてもきれいな紺色で、化学染料では出せない風合いが出せるからです。模様も白の中に藍色がまばらに入っていて、世界に一つしかできない模様だからです。同じものを作ろうとしてもできないのがとても魅力的だと私は思いました。

・布を絞るのは、少しめんどくさかったけど、絞って、染めて出来上がった物を見ると、キレイに出来ているところなどがあり、毎回違う仕上がりに出来ているからおもしろかった。

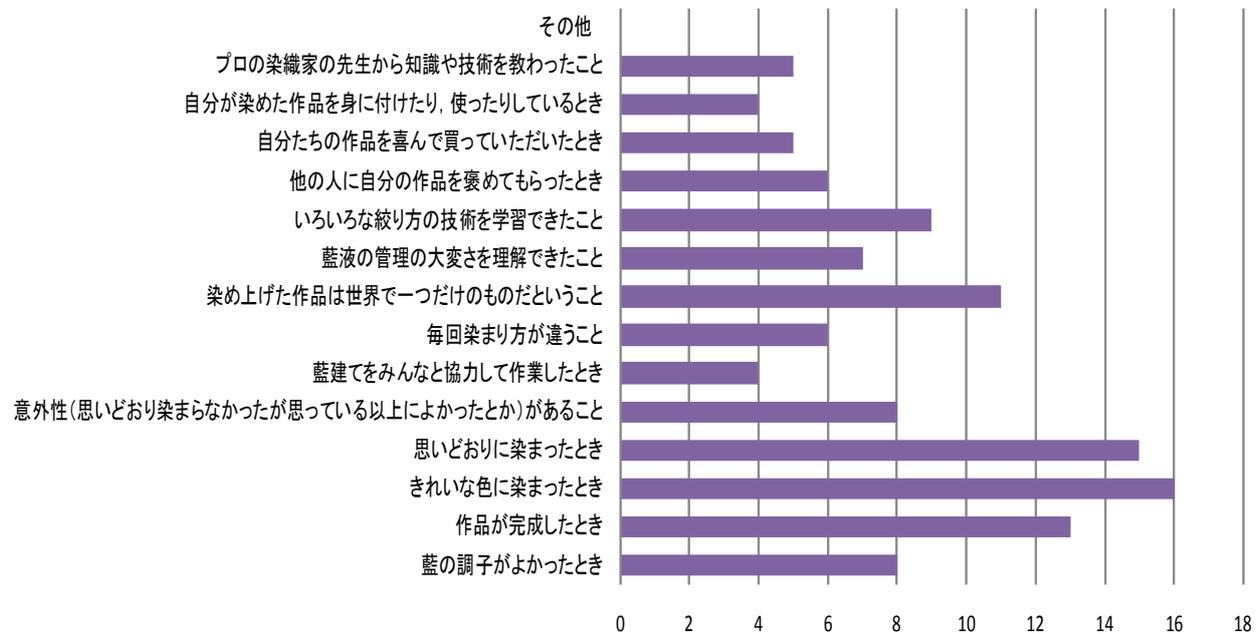
藍染め学習を通して、徳島の伝統文化について興味・関心が高まりましたか

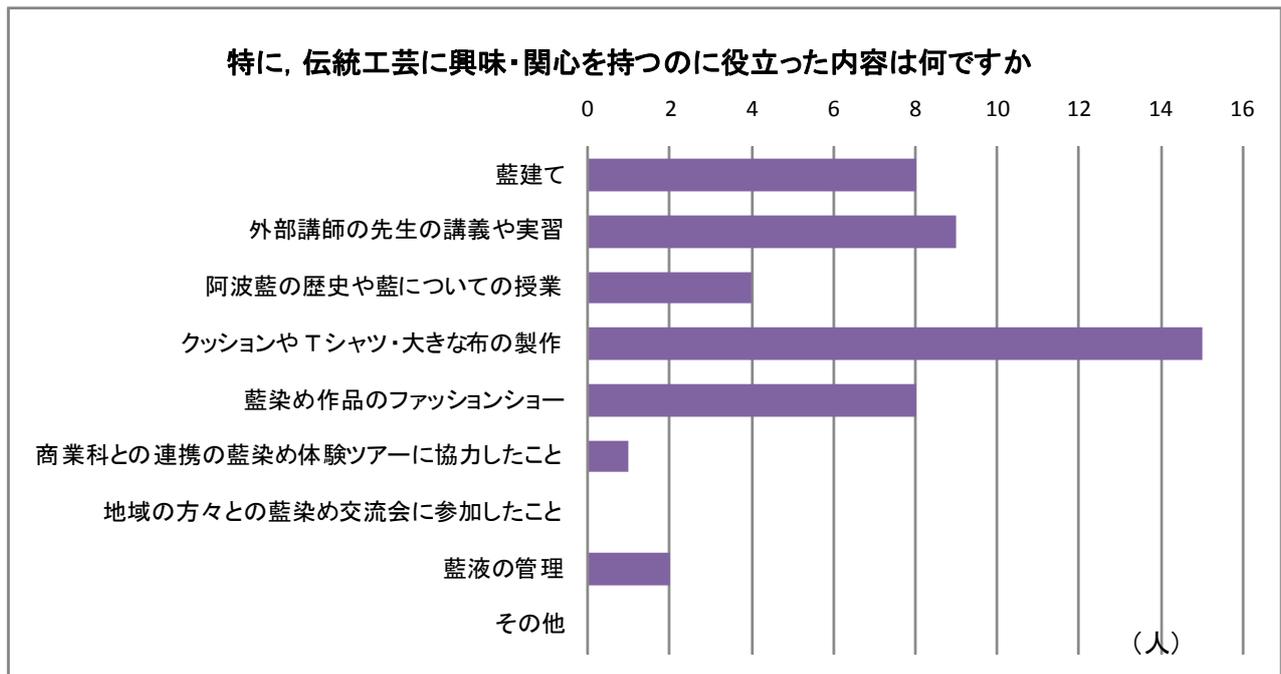
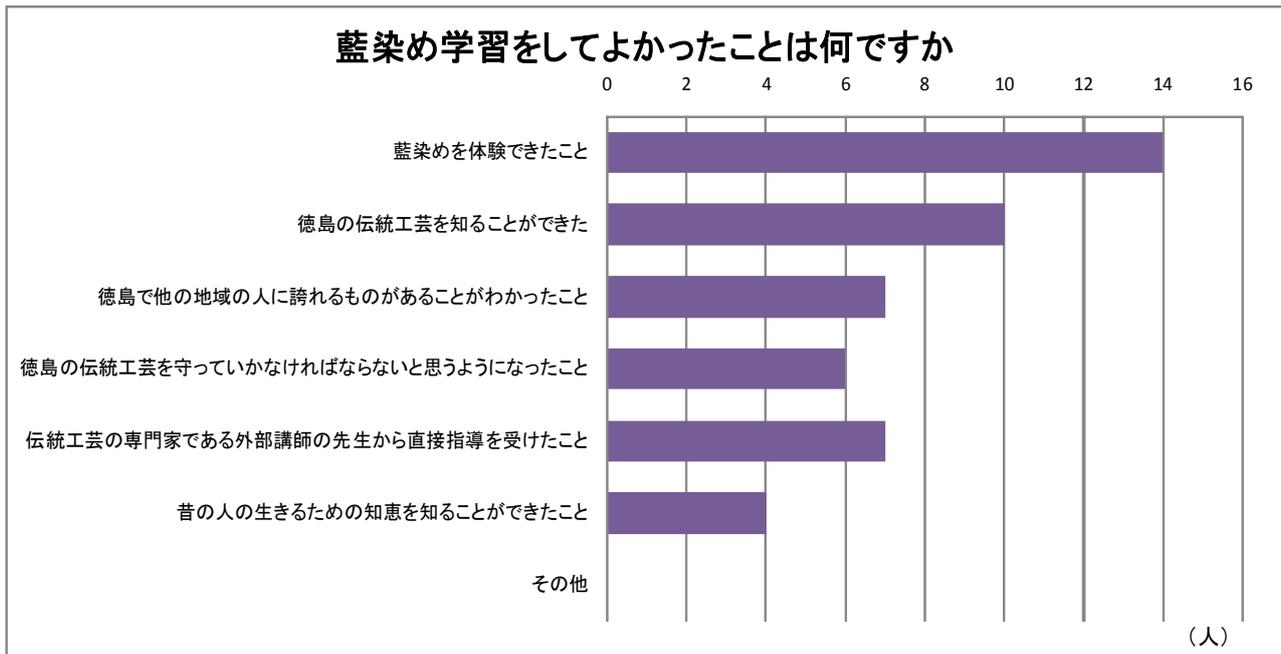
(人)



藍染めを学習して、楽しかったとき(こと)・うれしかったとき(こと)は何ですか

(人)





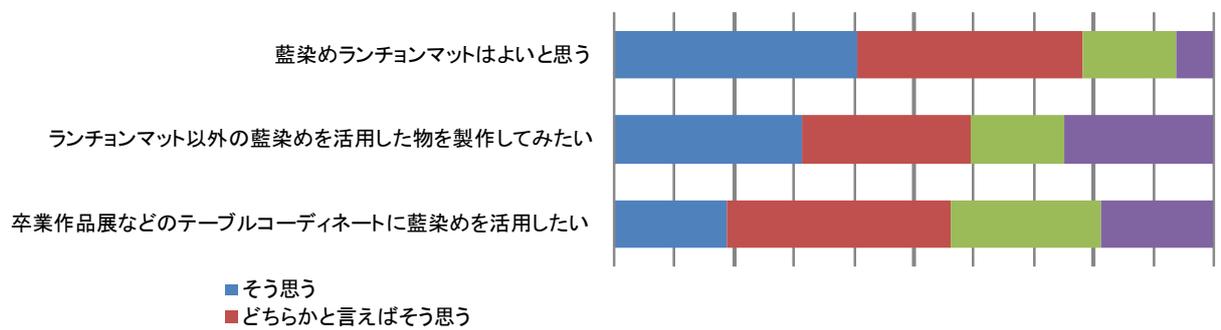
《生活文化科3年生 藍染め学習に関する意識調査より》

調査結果より、藍染め学習を通して郷土徳島の伝統工芸についての知識や理解を深めるとともに興味・関心も高めることができたと考えられる。また、陶芸の体験も郷土の伝統工芸をより深く理解することに役立つと考えられる。しかし、「特に、伝統文化に興味・関心を高めた内容は」の質問に対して「地域の方々との藍染め交流に参加したこと」の回答は皆無であった。参加した生徒が少ないこともあるが、今後の課題である。

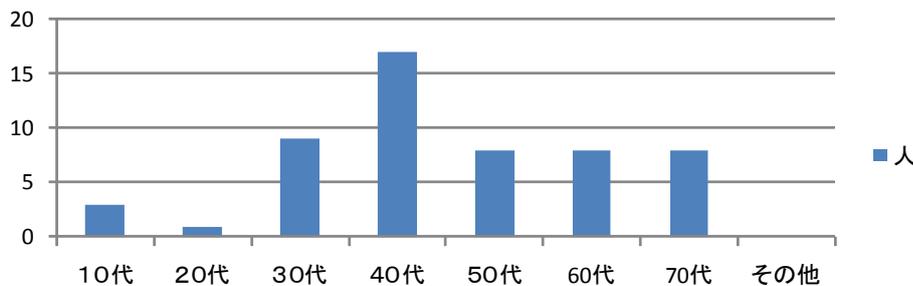
また、指導いただいた伝統文化継承者の方からのアンケートより、伝統文化に対する姿勢や深い思いがこもった回答をいただいた。これらを生徒たちに十分伝えられるよう、連携を密にして教材や授業展開を工夫しなければならないと考えている。

食物科2年 伝統文化に関する学習アンケート

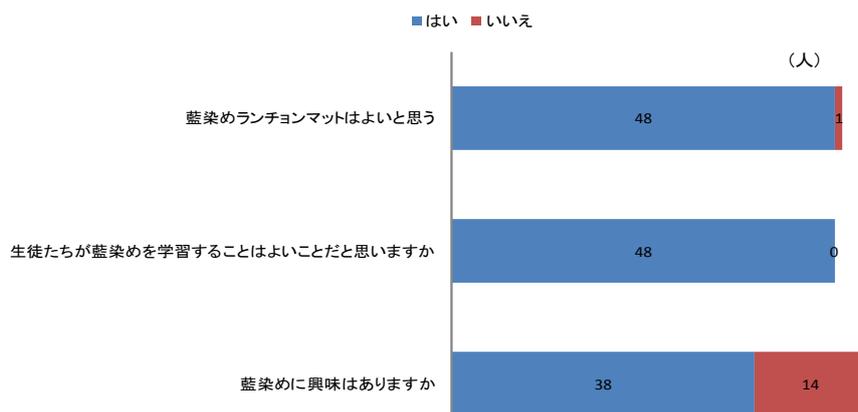
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



ミニカフェ利用者アンケート



ミニカフェ利用者アンケート



《ミニカフェ利用者アンケート結果より》

今回、ミニカフェを利用した方々の約70%は藍染めに興味をもっており、ほとんどの方が生徒が藍染めを学習することや藍染めのランチョンマットの活用はよいと回答している。が「食欲をなくす色なので藍染めランチョンマットはよくないと思う。逆にダイエットには向いている。」という意見をいただいた。色彩の知識を深めるとともに、デザインを工夫することも今後の課題として考える必要がある。



《藍建て実習》
生活文化科 2年生



《はちはち狸まつり》
生活文化科 3年生 ファッションショー

各学科との連携



《商業科》

商品開発 2・3年生 課題研究
(ニュービジネス)
雪花菜工房



《食物科》

卒業作品展 3年生 課題研究